

復興を願う多くの人たちが集い、賑わいました 復興まちづくり推進事業



3月31日、津久見市の復興と発展をめざした取組として、JR津久見駅前広場でフラダンスや復興曲を集めた音楽が披露されたほか、美味しい豚汁などの復興炊き出しが振る舞われ、多くの人々の心が温まりました。会場は、集まった人たちの笑顔であふれ、まちなかに賑わいが戻りました。

桜の下で笑顔満開



3月25日、青江ダム周辺で「つくみ山桜まつり」が開催され、たくさんの人で賑わいました。まつり会場では、ヒジキ飯や石垣もちの販売、ダンスパフォーマンスなどのステージイベントも行われ、花見客を楽しませていました。

今回で13回目となる「青江ダム一周駅伝大会」では5区間11kmのコースを各チームがタスキを繋ぎ、最後まで走り切りました。一生懸命走る姿に、見ている方からは、たくさんの方の声援と拍手が送られていました。

心温まる一日となりました

復興ラーメン博 in 津久見



3月25日、つくみん公園で『復興ラーメン博in津久見』が開催されました。天気にも恵まれ、県内6つのラーメン店が、1杯500円で提供するラーメンを求めて、朝10時の出店開始から長蛇の列が続いていました。

ラーメンをおいしそうに食べる姿や、つくみん公園で楽しそうに遊ぶ姿などの光景に、心温まる一日となりました。

津久見市の観光推進体制整備に関する協定を結びました



4月5日、(公財)日本交通公社、津久見市、津久見市観光協会の三者により、「津久見市の観光推進体制整備に関する三者協定書」調印式が行われました。この協定の締結で、(公財)日本交通公社から津久見市観光協会へ主任研究員の派遣をいただき、津久見市観光戦略の推進と観光推進体制の整備について、三者で連携し取り組んでいきます。

派遣された主任研究員は、吉谷地裕(よしやち ゆたか)さんで、津久見市観光DMO推進コーディネーター、津久見市観光協会事務局次長として、体験観光プログラムの造成などに積極的に取り組んでいただきます。

健康の秘訣は「笑顔」です 津愛大学開講式・4月学習会



4月17日、市民館で津愛大学の開講式および4月学習会が開催されました。津愛大学では、健康や一般教養といったテーマにそって、講師を招き、明るくたくましい高齢者としての生きがいを創造することを目的として、毎月1回、開催されています。この日は、大分県南落語組合の矢野大和氏による講話があり、大分弁をまじえた親近感あふれる語りは、たくさんの笑いを誘い、会場は笑顔で包まれました。

見ごろを迎えた桜の下で 大友公園桜まつりスケッチ大会



3月31日、「大友公園桜まつりスケッチ大会」が開催されました。大友公園の桜も見ごろを迎え、春の陽気を感じる一日でした。天気にも恵まれ、みんな思い思いの桜を描いていました。今回の作品は、5月12日から市民図書館に展示されます。

思いっきり楽しみました 平成30年度つくみんカップ開催



4月22日、総合運動公園テニスコートのリニューアルを記念して、「平成30年度つくみんカップ」が開催されました。テニスコートのリニューアルは、独立行政法人日本スポーツ振興センター「スポーツ振興くじ(toto・BIG)助成金」の交付を受け、昨年の11月から改修工事を行ってきました。大会は、暑さに負けじと大いに盛り上がりを見せ、改修したスタンドからは、たくさんの声援が送られていました。

消防防災のリーダーとして頑張ります 消防団新入団員研修会



4月22日に津久見市消防団新入団員研修会が行われました。消防本部で辞令交付を受けた新入団員の方たちは、消防団活動にはかかせないホース延長訓練や放水訓練などを実施しました。これから、地域の消防防災リーダーとして、住民の安心と安全を守っていきます。

※市ホームページ内「取材日誌」、市公式フェイスブックにて、掲載出来なかった写真や記事をご覧ください。